

# ボールの特性レポート

## BALL REPORT



ボール名	ローグ・ブレード	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.470	△RG	0.047	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

**テストボール：ROGUE BLADE**

フレアーの幅  インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

PAPからピンとの距離  インチ

4-1/2

番

研磨剤

**比較対照ボール：VILLAIN**

フレアーの幅  インチ

表面加工

- 箱出し状態
- 加工
- ペーパー
- ポリッシュ

PAPからピンとの距離  インチ

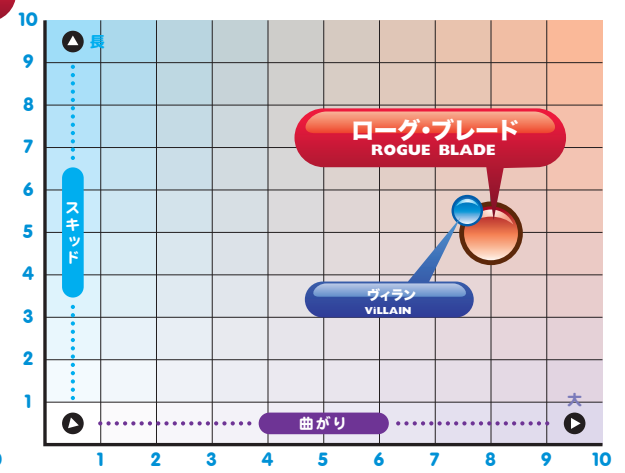
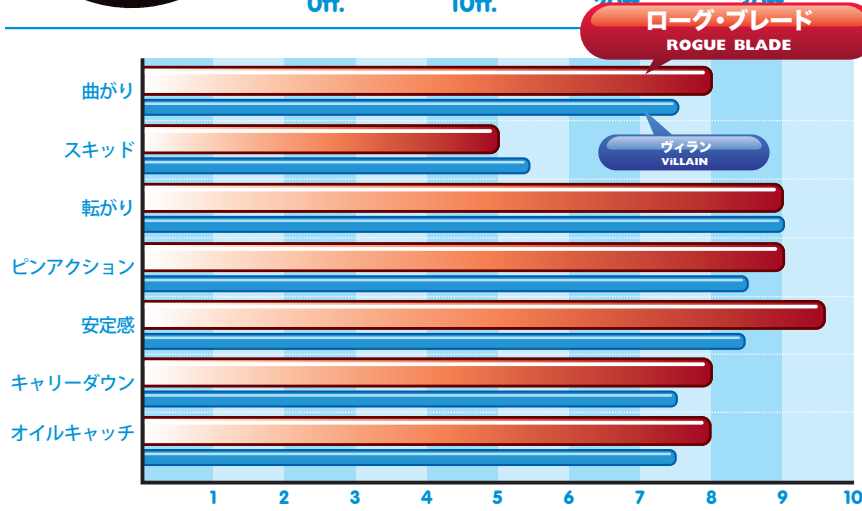
4-1/2

番

研磨剤



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



レーンコンディション	バックエンドリアクション	レンジス
Light Oil	Smooth	Early Roll
Light to Medium	Smooth to Arc	Early to Med
Medium Oil	Arc	Med-Lane
Medium to Heavy	Arc to Sharp	Med to Late
Heavy Oil	Sharp Angle	Late Roll

### ボールの評価

手から離れた瞬間から一気に転がりを魅せ、転がり感が増すようにピンヒットまで駆け抜ける。私がSIGMAコアに持つ印象はMOTIV社の中でも1・2を争うほど信頼感がある、またはその領域を担えるパフォーマンスを持っているものだと思っています。その久々にお目見えしたSIGMAコアが採用され、新たな添加物のブレンドを施されたHEXION SEカバーストック。今回はMedium Heavyコンディションを中心としたVILLAIN、REVOLTと同じ領域をカバーする新ブランドとしてROGUE BLADEをご紹介します。何といても一番皆さんに感じて頂きたいのは、SIGMAコアとHEXION SEカバーストックの融合でしょう。SIGMAコアは実に2013年12月SIGMA STING以来の採用ですので、現在のMOTIVファンでも実際のSIGMAコアの潜在能力を知る人は少ないかもしれません。独特な転がり感とそれでいてしっかりと奥での動きが明確に見えるモーションポテンシャルは、あらゆるカバーストックでも領域別に性能を表せる、数多くのボールをテストする私にとっては数少ない信憑性のあるコアです。

VILLAINと比較投球してみると明らかに二つは”どこを明確な動きをだすか”という分類が違います。VILLAINは後半の動きに特徴をだし、ROGUE BLADEは中盤からピンヒットまでをトータルサポートします。VILLAINの入射角の強さに対し、ROGUE BLADEはオイルに対しての安定感と読みやすい安定した軌道を信条とします。私にとっては同じ領域で比較するならREVOLTのほうが曲がりか似ているのではないかと思うぐらい、視点を変えるとMOTIV社はREVOLTの領域を入射角のVILLAINとコントロールのROGUE BLADEはに枝分かれさせているのではないかと思います。MOTIV社のこの領域はボウラーの使用頻度が高く、リアクション別に持つことで対応幅に変化が出せます。このROGUE BLADE持つことでさらに対応幅が広がることでしょう。

### 特記事項

**MOTIV社から信憑性の高いSIGMAコアの最新作が発売です。**  
**Covert REVOLTの換わりになるボールですので、このボールは見逃せません！**